

2010 べっぴん男女共同参画フォーラム(報告)

～ 2010.11.6(土) ニューライフプラザでフォーラムを開催
おおよそ200人の参加がありました。今年はあなたもどうぞ！ ～

第1部 ミニコンサート 美しい歌声・力強い三味線に感動!

独唱 ソプラノ 友永葉子さん
ピアノ 河野聡美さん
(曲) 明日への愛・ついでに ほか



60年前の別府…。
哀愁が感じられる曲でした。
美しい歌声に心が癒されました。
(70代女性)

別府に縁のある曲。この歌を
覚えたいと思いました。
(50代女性)

津軽三味線 鈴木利枝さん
前島貴嶺さん
(曲) 津軽じょんがら節 ほか



津軽三味線の生演奏は
初めてで力強さに圧倒
されました。
(40代女性)

大学卒業後、別府に残って活躍
されているとか。これからも応援
したいです。(50代女性)

音楽を聴くことで心が穏やかになりました。素晴らしいかったです!(60代男性)

第2部 講演「充実したシニア生活を目指すには」



講師 作田和幸さん
元 北海道新聞社専務取締役
シニアルネサンス財団北海道本部長
NPO法人 札幌微助人(ビズネット)倶楽部理事

これからの高齢社会、どう生きていくか。
積極的に社会に出よう心がけたい。
(60代女性)

<講演要旨>

- ・日本は世界の中でも高齢者自身が元気な国である。特に女性が元気。
 - ・これからの時代、必要なのは、元気なお年寄り。
“前期高齢者”が“後期高齢者”をボランティアで支えていく
ようなサイクルづくり。
(例) 微助人(ビズネット)倶楽部、コミュニティカフェ
 - ・長い人生。人生は2度あると考えては？
老後や余生ではなく2度目の人生を生きよう。
 - ・家庭における「老老介護」ではなく、社会・地域における「老老介護」にしたい。
別府は誰でもいつでも集まれる地域の温泉を利用できるのでは？
 - ・生活不活発病(じっとしていると体や脳の機能はどんどん衰える)に
ならないように外に出よう。
- 特に、地域社会に出ようとせず家に閉じこもっている男性諸氏よ!

別府ではどんな
取組があるのか
知りたい。
(70代女性)

地域でふれ合う場を実現
できたらいいな。地区の
温泉でできないかな。
(60代女性)

ご意見をおきかせください

男女共同参画に関する意見の申出
を承ります

市報など別府市発行の
刊行物で、男女差別と
とれるような表現は
ありませんか?

別府市役所の窓口
で、男女差別を受
けたことはありませんか?

申出の方法は・・・

- ◎ 気になること ◎ 具体的な内容
- ◎ 氏名、住所、電話番号 を書いて、
- (回答不要の場合は記入しなくて構いません)
- 特参・郵送・FAX・電子メールなどで、
- 別府市自治振興課へ送ってください。

～書き方は自由です～

<http://www.city.beppu.oita.jp>

別府市自治振興課 男女共同参画推進室

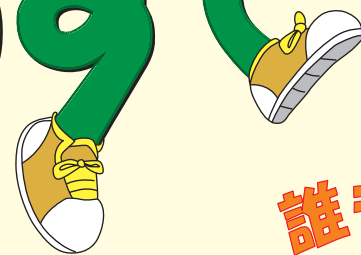
〒874-8511 別府市上野町1番15号
TEL: 0977-21-1125 FAX: 0977-21-6399
E-mail: aup-pf@city.beppu.oita.jp

市民編集委員 安部美恵子 小畑 賢一
川村 初代 田尻 勇
別府市自治振興課男女共同参画推進室

湯のまち「べっぴん」

男女共同参画

あすてっぴ



誰もが自分らしく
輝くために～



★きりり! 活躍するこの方ご紹介

～別府溝部学園短期大学准教授 脇 信明さん～

★皆さんは「デートDV」という言葉をご存じでしょうか

★2010べっぴん男女共同参画フォーラム(報告)

◆知って役立つ(^-^)/P子情報◆

- * 育児・介護休業法改正のポイント
- * ハローワーク別府のマザーズコーナー
- * 女性相談窓口一覧
- * 意見の申出制度について

あすてっぴの愛称…「あす」は明日と英語で私たちを表す us を意味し、「ステップ」は英語で足取りや歩調、そして段階を表す step、また、「ぷ」は別府の「府」です。私たちの明日の未来の男女共同参画のまち別府を性別にとらわれず、自分らしく自分の足取りで生きて行こうという気持ちを込めています。

発行：別府市自治振興課 〒874-8511 別府市上野町1番15号 編集：男女共同参画市民編集委員

TEL 0977-21-1125 FAX 0977-21-6399 E-mail aup-pf@city.beppu.oita.jp

男女共同参画の推進について、ご意見・ご質問をお寄せください。

きらい! 活躍するこの方ご紹介



～夫婦で家事と子育てを助け合い～
おとうさんの料理はレストランの味

別府満部学園短期大学准教授
脇 信明 さん (41歳) にぎきました♪
共働き妻、中1と小3の息子との4人暮らし



大分県では、「男性の子育て参画日本一」を目指して、1/Vの子育て後押しキャンペーンを実施しています。
http://www.pref.oita.jp/site/papokosodate/
大分県「1/Vの子育て応援」シンボルマーク

Q ご家庭ではどのような役割をされていますか？

妻も仕事をしています。ときには朝7時頃出勤し、夜遅くまで仕事です。僕も7時半過ぎには出勤しないと間に合わないので、6時半頃子どもたちを起こしながらドタバタと朝食やその他の準備をしています。今は二人の息子も手がつかなくなりましたが、保育園に行っていた頃、それはもう忙しかったですね。料理をして、子どもの着替えを用意して、朝、パーっとお立ちんぼを書いて、車に乗せて保育園へ子どもを預けるという毎日でした。「しゅふ業」も「主夫業」でやらないと家族が立ち行きません。

Q どのようにして夫婦の協力態勢ができましたか？

子育てしながら、考えながらやっていくような感じです。学生の頃レストランでアルバイトをしていたので料理は得意だけど片付けは苦手です。夫婦それぞれの得意分野を認め、話し合い、自然に分担ができるようになりました。私に余裕があるときには妻の分もできるし、私が忙しいときには、妻が気を利かせていろいろなことをやってくれます。忙しいながらも、なんとかやっていけなくていい、家族が成り立っていかないので、いつのまにか協力してやっていこうという意識になりました。

Q お子さんにはどのように影響していると思いますか？

ときには子どもと一緒に料理をします。小3の子は、2年生の頃から自分でおやつを作り始めました。蒸しパンを作るのですが、“ひやき”の分厚い版みたいになってしまいます。そんな姿を見て「偉いなあ」と思います。そういうことが自立への一歩だと思えます。また、「宿題終わったけん(料理)手伝おうか」と二人ともよく言ってくれます。忙しく働く両親の姿を見て、一緒にやっていこうというのがすこく芽生えているようです。子どもたちも自分でいろいろなことをしてくれます。「よしよし、お前も将来いい親父になるぞ」と頼もしく思っています。

Q 「主夫業」をすることでご自身の生活や仕事に変化がありましたか？

子どもができてから、教員としてのモチベーションも、学生たちのかかわり方も大きく変わったように思います。自分も保育の研究者ですので、いろいろな子育ての仕方や発達のことなど分かってはいたつもりですが、「主夫業」をし、妻と話し合いながらやっていくうちに仕事にも大きく反映できていると思います。そのことで人間的にも成長したことを実感しながら生活しています。

Q 大学では男女共同参画の視点で学生にどんな話をされますか？

授業の中で、我が家の子育ての仕方や子どもの成長について失敗談を交えながらよく話します。結婚後、いい夫婦でいるには「これはあなたの責任でしょ」とか「あなたがやるべきよ」と「べき論」で言うのではなく、「これどうしてだめなの」「ちょっとお願いね」など話し合ったり、「ありがとう」と感謝することが大切だと話しています。最近は、子どもが好んで子育てに積極的にかかわっていきたいと思っている男子学生がすこく多くなっているのはうれしく思います。

Q これからの社会に望むことは？

徐々にですが、男性も女性も平等な社会ができてきていると思います。しかし、男性としての役割、女性としての役割として外せないものもあると思います。女性は広くいろいろなところに気を配って見ますし、男性はひとつの目標に猛進できるという力を持っていると思います。もちろん個人それぞれ能力が違うので一概には言えませんが、批判ばかりではなく、お互いにほめ合ったり認め合ったりする社会が必要ではないかと思っています。

脇さん(中央)と編集委員の安部(左)、小嶋(右)



相手を思いやる心は、自分を好きになると自然に湧いてくる。長所、短所を認めて自分を好きになろう。ありのままの自分を受け入れることが自分らしく生きるとのことなのかもしれない。

皆さんは「デートDV」という言葉を ご存じでしょうか

デートDVとは、交際中の男女の間で起こる暴力のこと。「愛情＝束縛」というお互いの間違った認識が発端となり始まることが多い。

昨年12月7日、別府商業高校体育館で2年生4クラスを対象に「デートDV防止セミナー」(講師:佐賀県DV総合対策センター所長 原 健一氏)が行われました。

男女の親しい間柄で、最近暴力事件が頻発に行われ、今、5人に1人が何らかの被害を受けています。好きな人と交際をしているはずなのに、相手のことを「怖い」と思ったり、その交際を「つらい」と感じることもあるとしたら、その二人の関係は「どこかおかしい」と感じるべきです。デートDVは、腕力をふるったりするだけではなく、激しい言葉で相手を傷つけたり、ののしったり、脅したり、「自分の言うことだけを聞け」「自分以外の異性のケータイアドレスを消せ」などと言ったり、相手に無理難題を押し付ける。これらはすべてデートDVに当たります。例えば、「望まない妊娠をした恋人に「俺は知らない、お前の責任だ」と言い、中絶のための費用を彼女一人に用意させた」、これはひどい暴力、DVです。例を挙げればきりがありません。皆さんは、お互いに暴力を必要としない関係をつくっていきましょう。そのために、

- ・ お互いに「ありがとう」「ごめんね」と言い合える関係をつくりましょう。
- ・ 相手に「NO!」と言える関係をつくりましょう。
- ・ 人それぞれ、みんな違ってそれでいい。自分らしさを大切にしましょう。
- ・ 困ったときは相談しましょう。

スライドをまじえたおおよそ1時間の講演に聴き入る生徒の姿が印象的でした。



取材に協力してくれた皆さんありがとう!

* 講演のあと生徒(男女各3人)に感想を聴きました *

DVという言葉を知っていましたか？

B: まあ、聞いたことはありました。

B: うすうすは・・・

今日の講師の話はよくわかりましたか？

B: はい、わかりやすかったです。

B: そうですね。DV自体を勘違いしていたことがあったなと。暴力(こぶしを振り上げるジェスチャー)だけがDVだと、ぼくは考えていました。それが言葉やいろいろな脅しとかも・・・

ところで、自分が被害者や加害者になったことはありますか？

B: 自分は女性とお付き合いしたことがないんで、今のところ。

意外に願ってるのね。

B: まあ、周りが気付かないという感じ？ (全員笑い)

ほかの人はどうですか？

G: ないです。

友達にDVの経験者はいませんか？

B: う～ん・・・ G: いないです。

もし自分がDVに遭ったら、相手に「イヤだ」って言えばいいですか？

G: 絶対に言えません。

G: すぐ誰かに相談したいです。

まず誰に相談すると思いますか？

G: 友達です。

友達に相談しても解決しないときはどうしよう？

G: 家族。

親に言えないこともあるからね、気安く相談できる？

B: ちょっと考えますね。

市や県には、専門の相談窓口があるんですよ。この「あすてっぶ」にも必ず連絡先を載せていますから、もしものときは、相談してくださいね。

B: 男子生徒
G: 女子生徒

座談会の話は尽きませんでしたが、参加してくれた皆さんの考え方が非常に建設的で前向きなのに感動しました。一人ひとりの眼がとても生き生きしていました。

束縛とはどこかで取返せぬ起す。好きな人と交際を「怖い」と思ったり「つらい」と感じたらその関係はどこかおかしい。DV家庭で育ってもあなたの人生は別である。

育児・介護休業法改正のポイント (平成22年6月30日施行)

配偶者が専業主婦(夫)や育休中でも、育児休業が取れるようになりました!

夫が、妻の出産日から8週間以内に育児休業を取得した場合、特別な理由がなくても、再度育児休業を取ることが可能に!

子どもの健康診断や予防接種でも看護休暇を取ることが出来ます! 小学校就学前の子どもが2人以上いる場合は、年10日までになりました!

介護のための短期の休暇制度が創設されました!(要介護状態の対象家族が1人の場合は年5日、2人以上であれば年10日まで取得できます。)

希望に応じた就職へのお手伝い

履歴書の書き方や面接に向けたアドバイス

担当制・予約制できめ細かいサポート

ハローワーク別府のマザーズコーナー

～子育てしながら就職活動をするための窓口です～

勤務期間や休日等を柔軟に相談できる求人情報のご紹介

保育施設や保育サービスの情報提供

キッズスペースや授乳室などうれしい設備

ハローワーク別府: 別府市青山町11-22 TEL 0977-23-8609 (平日8:30～17:15)

～夫や恋人からの暴力の相談はこちらまで～

□ 女性の相談ホットライン 21-7820 第1～第4火水木 9:30～16:00

□ 別府市女性相談(別府市役所) 21-1111 (内線1176) 月火木 8:30～17:00

□ アイネス女性総合相談 097-534-8874 月～金 9:00～16:30

□ 配偶者暴力相談支援センター 097-544-3900 月～金 9:00～21:00 土日祝 13:00～17:00 18:00～21:00

□ 警察安全相談(県警本部) 097-534-9110 月～金 9:30～18:00

□ DV相談ナビ(相談窓口自動音声案内) 0570-0-55210

対等な関係とは暴力を必要としない関係であること。お互いに「ありがとう」「ごめんね」といえる関係、心の底から笑い合える関係であること。